

## 6. ふくろめねじに対する最小はめ合い長さ

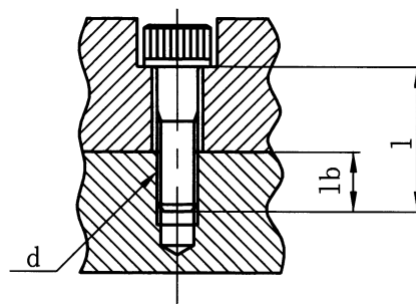
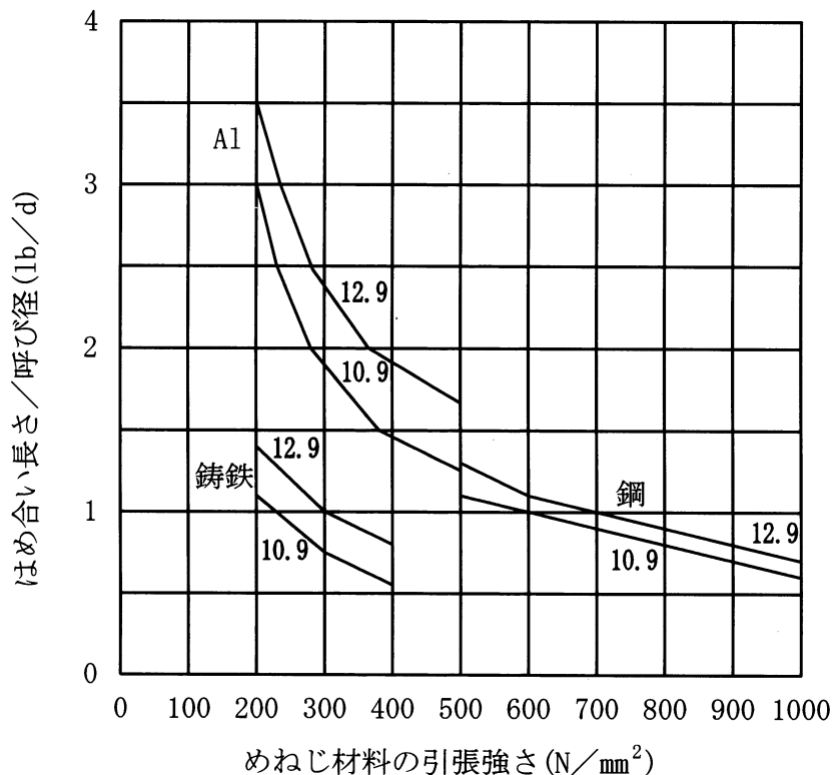
六角穴付きボルトはふくろめねじに使用することが多いことから、ボルトの強度とめねじ材料の種類によりはめ合い長さを十分に確保する必要があります。

めねじ材料の種類によっては、はめ合い長さが短いとねじ部に応力集中が起きたり、ねじ山のせん断破壊（通称：抜け）を生じることがよくあります。

そこで、図 6 - 1 に並目ねじの場合のめねじ材料と最小はめ合い長さの推奨値を示しました。

なお、ISO、JIS では、原則としてボルトとナットは、同一呼び強度を組み合わせることを推奨しております。

図 6 - 1 ふくろめねじに対する最小はめ合い長さ（並目ねじの場合）



（注）細目ねじの場合は、図 6 - 1 の値より、約 20% 短くてよい。

『計算例』

条件：ボルト M10 強度区分 12.9、めねじ材質鋳鉄(引張強さ  $250\text{N/mm}^2$ )の場合

図 6 - 1 より  $lb/d=1.2$  と読み取れる。従ってはめ合い長さ  $lb=1.2 \times d$  となるから

$lb=1.2 \times 10=12$  最小はめ合い長さは 12 mm となる。